

●車ご利用の場合

大阪からは、国道26号(堺)・310号・170号・24号経由で九度山より高野山ドライブウエで山上へ



▲ケーブル

南海電車極楽橋より山上に至る延長約0.8キロ。急勾配を備うように登る窓外に映る幽邃の美は絶佳。所要時間は5分間で日本有数の長距離ケーブルカーである。



▲高野山道路

昭和35年7月、日本道路公団によって完成。山麓九度山より終点の山上大門に至る約17キロの間深山幽谷に心を澄まされると思えば、登るに従い遠く紀伊・生駒連峰が展けて来る。風景絶佳のドライブウエである。



▲極楽橋

高野旧登山7口の一つ京街道不動口、現在の南海電車極楽橋駅辺にあり、昔はここより山麓や強力の手を借りて登山した。木造朱塗りの色彩は深山幽谷に映えて美しい。



▲町石道

山麓九度山慈尊院より山上伽藍大塔に至る旧登山道に180基(胎蔵界)、大塔より奥之院まで37基(金剛界)の仏の姿になぞらえた高さ3メートルの石標が1町(約110米)毎に建てられている。昔の人々が信仰の証と道標として22年の歳月を経て弘安8年完成した。



浅井長政夫人お市の方(当院所蔵)

持明院の縁起

鳥羽天皇の保安年間に持明房真誓大徳の開基でその字を取って寺名とし、特に持流一派の本山として850年、法灯師資連綿として今日に至っております。

本尊は延命地藏菩薩で古来より伊達家、武田家、土屋家京極家、木村家等の大壇主を始め増信各家祖先の霊牌を安置して、例時の供養に二世の勝縁を祈願して居ります。現在の建物は明治43年祝融の災以後のもので、境内6,600㎡(2,000坪)堂宇10数棟に及び数々の貴重な仏像仏画、経典を収蔵しております。



◀霊宝館

金剛峯寺をはじめ、山内各寺院の国宝・重要文化財の仏像・仏具・絵画・書翰等が保存されて一般の観覧に供している。宇治平等院を模した優美な建物で大正10年の建立。



◀女人堂

高野山は明治5年禁が解かれるまでは女子の入山は許されなかったので、各々山内7カ所に参籠所が設けられていた。現在残っているのは、不動坂口(南海バス女人堂駅前)唯一つである。



◀一番石碑

秀忠の二男駿河大納言忠長が母堂(淀君の妹)追善のため建立、高さ10米、台石の広さは8畳敷。高野山の石碑中最大「一番石塔」と呼ばれている。



◀徳川家霊台 重要文化財

寛永20年(1643)徳川3代将軍家光によって建立、一重宝形造りの建物2棟が並んでいる。右が家康霊屋、左が秀忠霊屋である。



▲本堂



▲中庭園



▲山門

◀森蘊先生作庭(八葉蓮華の前庭)